

# 春爛漫!「坂川の花桃まつり」開催

坂川では紅白の花桃が咲き誇り、土手の菜の花や水仙とコラボ……そんな春爛漫の3月12日(日)、地元のパラソニア団体「坂川の花桃を愛する会」主催第11回「花桃まつり」が、4年ぶりに国交省北千葉導水路管理センターで開催されました。

当日は、満開の花桃と暖かな日差しに誘われて、老若男女300名を超す方々が来場。オールポニー「親父バンド」(サンライスト五番街)による懐かしいJ

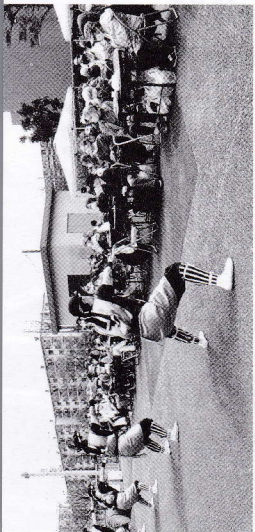
ポップのライブや「踊る阿呆会」の踊り、初出演「流山とんとんみー」による沖縄エイサーが会場を賑やかに盛り上げ中、そば打ち同好会(西パークハウス)お手製の手打ちそばや、地元有志によるカレーライス、地元産餅米を使ったお赤飯、フランクフルト、飲みものなど、丁寧に時間をかけて準備した多彩なメニューを堪能。みんなで一緒に新松戸の春を祝いました。

花桃の会/八重樫 衛

「流山とんとんみー」 「踊る阿呆会」  
撮影：田中 洋一



「踊る阿呆会」(サンライスト五番街)の皆さんによる踊り



初出演「流山とんとんみー」の皆さんによる沖縄エイサー



親子三代で春を満喫

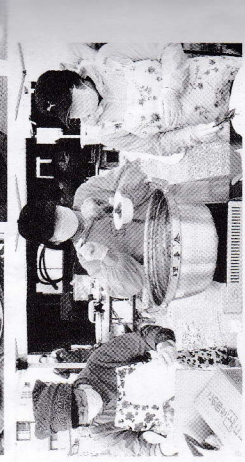


懐かしいヒット曲を演奏する「親父バンド」に大盛り上がり

15kgのそば粉を打って、切って、茹でて……「そば打ち同好会」(西パークハウス)の手打ちそば



準備を終え、バックヤードでのんびり



サンライスト五番街在住の有志が時間をかけて煮込んだ大量のカレーライスもみるみる間に残り少なくな



マスクを外して久しぶりの開放感 若い家族連れも多くみられた



「坂川の花桃を愛する会」顧問の大井弘好さん



の木の維持管理が主目的に、新松戸7丁目の3町会(七丁目町会・コミュニティ五番街・西パークハウス)役員有志16名による設立総会で会を結成(顧問：大井弘好/会長：梅田隆光。現在会員約80名、会長(顧問：大井弘好/会長：太田隆義)以下15名の役員は3町会から各5名を抽出)

主な活動は、①国交省北千葉導水路管理センターで「花桃まつり」「坂川の秋を楽しむ会」を開催 ②坂川の土手と周辺の清掃活動 ③国交省施設や河川・湖沼の見学会 ④秋の文化講演会開催(2022年時点で10回開催) ⑤新松戸西小学校4年生を対象に「坂川の話」の出席講座 ⑥ナマズなど雑魚の放流 ⑦花桃の維持管理ほか。

\*これらの経緯については、2019年2月号「新松戸」連載「坂川物語」にも詳しく記載されています。



花盛りの上の空の下、満開の花桃、ライブ、友だちと乾杯……最高!

## 坂川の花桃を愛する会(略称：花桃の会)について

第1回「花桃まつり」が契機となり2010年11月、坂川の花

改修工事後、国交省は地元要望を受け、2001年に坂川右岸に花桃100本を植樹。現在に至る。

花桃まつりの歴史

2010年2月28日、坂川沿いの満開の花桃を地域のみならず、交流を深めることを目的に、第1回「花桃まつり」を開催(主催「七五西交流会」。2回目以降は「坂川の花桃を愛する会」)。以後、2019年まで毎年開催。コロナ禍により2020年・2022年は中止。今年、4年ぶりに11回目を開催。

坂川に花桃が植えられた経緯

新松戸を流れる坂川流域はかつて「下谷(したや)と呼ばれ、幅11mほどの坂川右岸には200mほどにわたり花桃が植えられていた。しかし、国交省が1974年に着手した北千葉導水路事業により、坂川は現在の川幅42m(けやき通り橋付近)に拡張。その結果、花桃はすべて伐採された。